

平成26年3月4日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 4件
(うち石油ふろがま用バーナー(五右衛門風呂用)1件、
ガスこんろ(LPガス用)1件、ガス栓(LPガス用)1件、
ガスこんろ(都市ガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 7件
(うち電気ミニマット1件、ペレットストーブ1件、
電気ストーブ(セラミックヒーター)1件、コンセント1件、
電気ストーブ(カーボンヒーター)1件、エアコン(室外機)1件、
電子レンジ加熱式湯たんぽ1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 2件
(うち手すり(窓用)1件、カイロ(足首用)1件)
4. 重大製品事故ではなかったと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号A201200820を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) ^{サンクン}燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について （管理番号A201300835）

①事故事象について

燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の強弱切替スイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）8月7日、2008年（平成20年）4月21日及び2011年（平成23年）2月10日にウェブサイトへ情報掲載し、また、2011年（平成23年）2月、2012年（平成24年）2月、2013年（平成25年）3月に新聞社告を掲載し、2014年（平成26年）1月にインターネット広告（yahooバナー広告）を行い、さらに、販売店においてポスター掲示、ダイレクトメールの送付により呼び掛けを行い、対象製品について製品回収・返金を実施しています。

また、2008年（平成20年）4月21日にリコールし、既に代替品として交換した「機種：UHC-3T」についても製品回収・返金対応を実施しています。

③対象製品：製品名、機種・型式、表示製造年、回収対象台数

製品名	機種・型式	表示製造年	回収対象台数
電気ストーブ （カーボンヒーター）	UHC-3T （色：ベージュ） ブランド名：EUPA（ユーパ）	2009年製 2008年製	16,269台
	UHC-9T （色：ブルー） ブランド名：EUPA（ユーパ）	2007年製	10,303台
	TSK-5328CT ブランド名：EUPA（ユーパ）	2007年製 2006年製 2005年製	29,131台
	TSK-5328CRI	2006年製 2005年製	882台
	TSK-5328CRI (BW) ※販売元：(株)バルス	2005年製	486台
電気ストーブ （ハロゲンヒーター）	FS-900T ※販売元：(株)フィフティ	2007年製 2006年製	15,593台
合 計			72,664台

2007年（平成19年）8月7日からリコールを実施
回収率 11.0%（2014年1月31日現在）

対象製品の外観及び確認方法

1) 対象製品の外観



（写真はUHC-3T）

2) 対象製品の確認方法：当該製品の裏面の型番を御確認ください。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収・返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

燦坤日本電器株式会社 電気ストーブ(カーボンヒーター)回収ダイヤル

電話番号：0120-600-527

受付時間：9時～17時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ウェブサイト：http://www.tsankuen.jp/tkj/jsp/tkj_web/TKJMain.jsp?id=2

⑤消費者庁及び独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の対応

電気ストーブや石油ストーブ・石油温風暖房機等の暖房機器のリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、消費者庁では、2013年（平成25年）12月25日に「リコール製品による火災等の事故再発防止について－お持ちではありませんか？回収・無償改修等が未対応の暖房機器等－」をウェブサイトに掲載し、リコール製品をお持ちの場合、まずは使用を中止し、事業者によるリコール情報（回収・無償改修等の内容）を御確認いただき、事業者に連絡いただくよう呼び掛けを行っています。

また、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）においては、2011年（平成23年）2月25日より事故防止のための注意喚起チラシ「電気ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか？」をウェブサイトに掲載し、注意喚起を行っています。

（消費者庁による注意喚起）

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/131225kouhyou_2.pdf

（独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）による注意喚起）

ウェブサイト：http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall_denki_110225.pdf

(2)旭電化工業株式会社（現 株式会社A D E K A）が製造した電子レンジ加熱式湯たんぽについて（管理番号A201300837）

①事象について

旭電化工業株式会社（現 株式会社A D E K A）が製造した電子レンジ加熱式湯たんぽを電子レンジで加熱して取り出したところ、当該製品が破裂し、顔と左手に火傷を負う事故が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、本体及び取扱説明書に加熱時間等の注意表示があるものの、主に過加熱によって、本体容器の圧力が上昇して容器が破損し、中身の高温の液体（蓄熱材）が飛散して火傷を負ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、1999年（平成11年）11月12日に新聞社告の掲載等により注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について、製品回収・返金を実施しました。

その後、雑誌広告やウェブサイトへの情報掲載を通じて回収告知を行い、また、2006年（平成18年）以降、販売店や全国の消費生活センターへのポスター配布、2008年（平成20年）1月にダイレクトメールの送付、同年3月以降複数回にわたりテレビCM、さらに、2006年（平成18年）以降、毎年、新聞社告への掲載（2013年は12月に掲載）を行い、製品回収・返金を呼び掛けています。

③対象製品：製品名、販売元、製造期間、回収対象台数

製品名	販売元	製造期間	回収対象台数
夢暖	(株)A D E K A	1994年11月 ～ 1999年12月	51,651台
安眠物語	(株)バイオスインコーポレーション		
あったまりーな	山甚物産(株)		
レンジで湯たんぽ	ピップトウキョウ(株) (現 ピップ(株))		
チビ暖くん			

1999年（平成11年）11月12日からリコールを実施
回収率 48.1%（2014年2月28日現在）

対象製品の外観

製造期間
1994～1999年



〈サイズ 205 mm × 150 mm × 55 mm〉
商品形状

【回収対象商品】



夢暖
(旭電工業株式会社)



安眠物語
(株式会社バイオスインコーポレーション)



あたたまりーな
(山甚物産株式会社)



レンジで湯たんぽ
(ピップトウキョウ株式会社)



チビ暖くん
(ピップトウキョウ株式会社)

() 内は販売元

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収・返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、回収対象製品には、株式会社バイオスインコーポレーション、山甚物産株式会社、ピップトウキョウ株式会社（現 ピップ株式会社）が販売した製品もあります。

【問合せ先】

株式会社 A D E K A

電話番号：0120-963-240

受付時間：9時～12時、13時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.adeka.co.jp/news/2013/131101yu.html>

(本発表資料の問合せ先)

消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、清重

電 話 : 03-3507-9204 (直通)

F A X : 03-3507-9290

サンクン

(燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ (カーボンヒーター) についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 水野、角田、中谷 電 話 : 03-3501-1707 (直通)

F A X : 03-3501-2805

(旭電化工業株式会社 (現 株式会社 A D E K A) が製造した電子レンジ加熱式湯たんぽについての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 水野、長沼、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)

F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300827	平成26年2月17日	平成26年2月27日	石油ふろがま用バーナー(五右衛門風呂用)	F-9	長府工業株式会社	火災	当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	岡山県	
A201300829	平成26年2月4日	平成26年2月27日	ガスこんろ(LPガス用)	RTS-336WN-L	リンナイ株式会社	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	香川県	事業者が事故を認識したのは2月18日
A201300833	平成26年2月13日	平成26年2月27日	ガス栓(LPガス用)	PL-4F	伊藤鉄工株式会社	火災	当該製品に接続しているガスこんろを点火したところ、漏えいしたガスに引火し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	製造から25年以上経過した製品 2月14日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済 2月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300838	平成26年2月	平成26年2月28日	ガスこんろ(都市ガス用)	OSC-460FB-1	パロマ工業株式会社(現 株式会社パロマ)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	京都市	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200820	平成24年12月23日	平成25年1月24日	電気ミニマット	EC-K454	株式会社千住(輸入事業者)	火災	当該製品を踏み台の上に置いて使用中、異臭に気づき確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。調査の結果、当該製品のヒーター線を固定する接着剤の塗布量が少なかったため、使用中にヒーター線の固定が外れ、ヒーター線が折り重なった部分で局部過熱を起こして絶縁被覆が溶融し、ショートして焼損したものと考えられる。	兵庫県	平成25年1月29日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300828	平成26年2月15日	平成26年2月27日	ペレットストーブ	なし	有限会社さいかい産業(現 株式会社さいかい産業)	火災	当該製品の排気管及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	新潟県	
A201300830	平成26年2月15日	平成26年2月27日	電気ストーブ(セラミックヒーター)	KCH-1233(小泉成器株式会社ブランド)	株式会社千石(小泉成器株式会社ブランド) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	岐阜県	2月27日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300831	平成25年12月23日	平成26年2月27日	コンセント	WKS294	松下電工株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品に電気製品を接続して使用していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	千葉県	事業者が事故を認識したのは2月17日
A201300835	平成26年2月16日	平成26年2月27日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	UHC-3T	燦坤日本電器株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の強弱切替スイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。	高知県	平成19年8月7日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率 11.0%
A201300836	平成26年2月20日	平成26年2月28日	エアコン(室外機)	AO22GPB	株式会社富士通ゼネラル (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から10年以上経過した製品
A201300837	平成26年1月20日	平成26年2月28日	電子レンジ加熱式湯たんぽ	なし	旭電化工業株式会社(現 株式会社ADEKA)	重傷1名	当該製品を電子レンジで加熱して取り出したところ、当該製品が破裂し、顔と左手に火傷を負った。 事故原因は、現在、調査中であるが、本体及び取扱説明書に加熱時間等の注意表示があるものの、主に過加熱によって、本体容器の圧力が上昇して容器が破損し、中身の高温の液体(蓄熱材)が飛散して火傷を負ったものと考えられる。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは2月20日 平成11年11月12日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率 48.1%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300832	平成25年10月28日	平成26年2月27日	手すり(窓用)	重傷1名	当該製品に手を付いたところ、当該製品が窓枠から外れ、負傷した。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは2月17日
A201300834	平成26年1月1日	平成26年2月27日	カイロ(足首用)	重傷1名	当該製品を使用していたところ、足首に火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは2月17日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

電気ミニマット (管理番号 : A201200820)



ペレットストーブ (管理番号 : A201300828)



電気ストーブ（セラミックヒーター）
（管理番号：A201300830）



コンセント（管理番号：A201300831）



エアコン（室外機）（管理番号：A201300836）

